

学生 静肅に! ビジネスマン教授だ

96.4.1 朝日(夕)



「21世紀に向け 環境」を学べ

慶応義塾大学に、四月から現役ビジネスマン教授が誕生した。オフィスで働きながら、週の半分は講義に立つという制度で、慶大では第一号だ。従来の大学スタッフがカバーできない分野に強いビジネスマンと契約する。

全国的にも珍しい「ビジネスマン教授」に就任するのは、東京海上火災保険の山口光恒・理事、企業営業開発部部长(まな)。山口さんは一九六二年に入社した。カナダでの海外勤務も経験。現在は、環境分野での

慶大に「学生の刺激に」 山口氏

企業リスクや世界各国の環境法を研究することにも、環境情報を提供して企業の営業支援をすることが主な仕事だ。

環境専門家会議などでの日本政府代表顧問もつとめ、欧米の環境問題の弁護士など人脈は広い。

そんな山口さんに、「二十一世紀は、企業にとって環境が重要なテーマ」と、母校の慶大経済学部から「教授に」と白羽の矢が立った。身分は準専任教授で、教授会には出ないほかは、教授と同格だという。東京海上社員と慶大教授を兼務し、給料は会社からもらう。一年ごとの契約で、最長三年だ。

三田校舎で、正式科目である「地球環境経済論」の講義や演習を受け持つ。講義は週に三日。環境と企業の共存や各国の環境法などについて講義する。

山口さんは「未来に地球を残すために今、何をすべきかを伝えたい。ホットな情報を紹介し、学生諸君が目を輝かすような授業をしたい」と張り切る。

飯田裕康・慶大経済学部長は「環境は、慶大の専任スタッフがカバーできていないが大事な分野だ。生の体験を学生に伝えて欲しい」と話す。

会社の部長と教授という二役をこなすことになった山口さん。東京都千代田区丸の内一丁目の東京海上火災保険本社で